

## 競技注意事項

1. 本大会は、令和4年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮して、特に教育的配慮のもとに競技を進行する。
2. 参加種目は一人2種目までとする。(但しコンバインド種目2種目の出場は認めない。)リレーの補欠は1種目と数える。混合リレーと男女別リレーの2種目出場は可。コンバインドA、Bの中からI種目のみの出場も可。(コンバインドとしての順位にはならない。)
3. スパイクシューズは使用してもよい。(ピンはオールウェザー用のものを使用し、長さは7ミリ以下とする。)長距離種目はスパイク不可)
4. コールは行わない。競技開始15分前までに集合の予告放送をするので、10分前までに、集合場所に集まり、(フィールド種目も) 係の指示に従うこと。
5. スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。また、全国大会の競技規則に合わせ、同じ選手が2回フライングした場合に失格とする。(ただし教育的配慮で参考記録として記録は測定する。)合図はイングリッシュコールとする。
6. 100m、80mハードル、リレーの選手は、自分のレーンを走り、他のレーンの選手の妨害になる行為をしないこと。
7. 5年と6年の100m種目と男女混合リレー(全国大会正式種目)のみ予選・決勝を行う。ただし今年度は混合リレーは、参加チームが8チーム以下のため、即決勝とする。
8. リレー競走のテークオーバーゾーンは、30mとする。ゾーン内からスタートし、ゾーン内でバトンの受け渡しを完了すること。(最初に立つ位置はゾーン内であればどこでもいい。)
9. コンバインド種目(A…80mハードル、走高跳 B…走幅跳、ジャベリックボール投げ)
  - ・各種目の得点は、『JAAF小学生混成競技得点表(2022)』による。
  - ・2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は同順位とする。**(倉敷地区ではI種目だけのオープン参加を認め、その競技だけの順位には加える。)**
  - ・80mハードル走は、ハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからゴールまでは11mとする。
  - 走幅跳、ジャベリックボール投は全員2回の試技とする。
  - ジャベリックボール投げは、助走距離は15m以内とする。
  - 走高跳の試技は1mから開始し、足からの着地のみ有効試技とする。2回続けて失敗した時点で終了とする。
10. 各種目とも上位6位までを表彰する。参加者全員に記録証を配布する。(記入は各団体で行うこと)記録は速報用ホームページ(別ページに掲載のQRコードより)に掲示するのでよく確認のこと。なお、倉敷JCのホームページにも掲載するので、見落としした場合はそちらで確認のこと。感染症対策のため、記録速報板は設置しない。
11. **各チームの指導者は、見学のマナーも含めて、選手の指導・管理を徹底すること。**
12. 本大会出場選手には、主催者側で1日傷害保険に加入しているが、けがや事故には十分注意すること。大会出場時の急病・事故については、応急処置以外の責任は負わない。なおけがをして病院に行く可能性のある場合は、必ず大会終了までに本部に申し出ておくこと。
13. 貴重品の管理は各人で行うこと。紛失の責任は負わない。
14. 昼食はスタンドでとって構わないが、ごみは各自持ち帰ること。
15. チームの選手の競技が全て終了したら、ナンバーカードをチームでまとめて、受付に返納すること。

**感染症対策については、別紙を熟読の上、細心の注意を払うこと。**